

プログラム内容

Day 1 (9月2日)

1 時代を読み解く

- 今がどのような時代なのかを概観し、諸物価高騰のメカニズムや「なぜ円安なのか」を解説することで今後の物価動向等を推測します。
- 過去の延長で経営を続ける従来型のビジネスモデルは立ち行かなくなる可能性が高いことを理解し、事業継続のためのイノベーションの必要性を共有します。

2 小規模事業者に対する国の支援方針と経営革新計画

- 小規模事業者の支援細分化（成長志向、経営革新認定等）と、それぞれの優遇制度を解説します。
- 経営者に求められる「経営リテラシー」の向上と、事業計画・資金繰り計画策定の重要性を確認します。

3 経営者なら知っておくべき管理会計知識

- 管理会計による営業利益計算法を解説し、必要売上高等算出の演習を行います。
 - 自社決算書（内訳書）を用いて自社の収益構造を把握し、物価高騰や人件費増大による利益への影響をシミュレートします。
- ※この数値が、経営革新計画の「数値目標」の根拠になることを示します。

4 経営革新（イノベーション）とは何か

- 経営革新計画の対象となる「新事業」の定義と、それを見出すための方法論を解説します。
- SWOTおよびクロスSWOT分析を解説し、ワークシートを用いて「新事業活動」の候補を見出すための宿題を提示します。

Day 2 (9月24日)

（第1回の振り返り）

5 販路開拓による経営革新

- どのような販路開拓があるのかを説明し、それによってどの程度経営改善されるのかを数値でシミュレートする手法と判断基準を解説します。

6 DXによる経営革新

- 『デジタル活用診断ワーク』により現状を把握し、小規模事業者でも取り組めるデジタル活用方法を学びます。
- DX導入により、どの程度経営が改善されるかを具体的にシミュレートし、その結果の判断方法を解説します。

7 経営革新計画書のフォーマット

- 計画書を策定する目的を再確認し、書くべき項目を構造化して解説するとともに、目標指標を確認します。
- 「経営革新構想シート」を用い、実際の計画立案に向けた橋渡しを行います。

小規模事業者のための経営革新計画策定セミナー 申込書

長野商工会議所宛 → FAX:026-227-2758

令和8年 月 日

事業所名		業 種		従 業 員 数	名
所 在 地	〒			☐ 会 員 ☐ 非会員 いずれかに✓印をして下さい。	
T E L		F A X			
E-mail					
受講者名					